

RYOBI

**2006年3月期
中間決算説明資料**

(2005年11月)

リョービ株式会社

1

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これには、リスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

2

'06/3中間期の業績

3

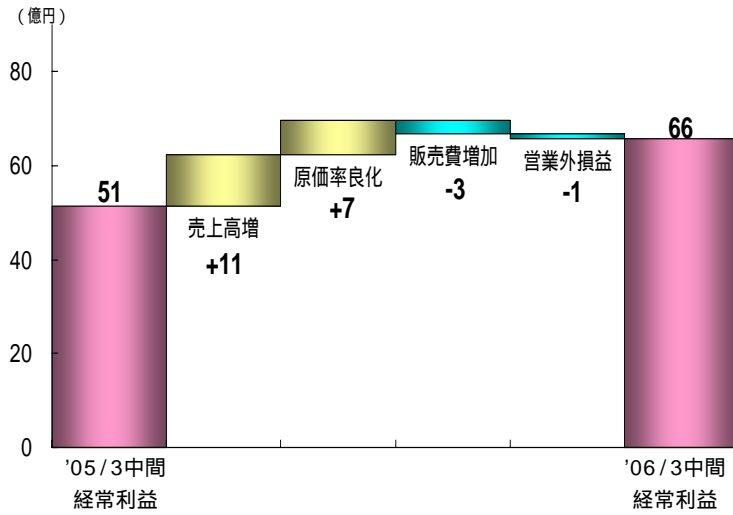
連結決算の概況(中間期)

(億円)

	'05/3期中間 (実績)	'06/3期中間 (実績)	-
売上高	774	827	53
営業利益 (売上高比)	48 (6.2%)	63 (7.6%)	15
経常利益 (売上高比)	51 (6.6%)	66 (7.9%)	14
当期純利益 (売上高比)	28 (3.6%)	41 (4.9%)	13
	'05/3期末 (実績)	'06/3期中間 (実績)	-
総資産	1,574	1,603	28
利益剰余金	185	213	28
有利子負債	445	405	40
			過去最高益

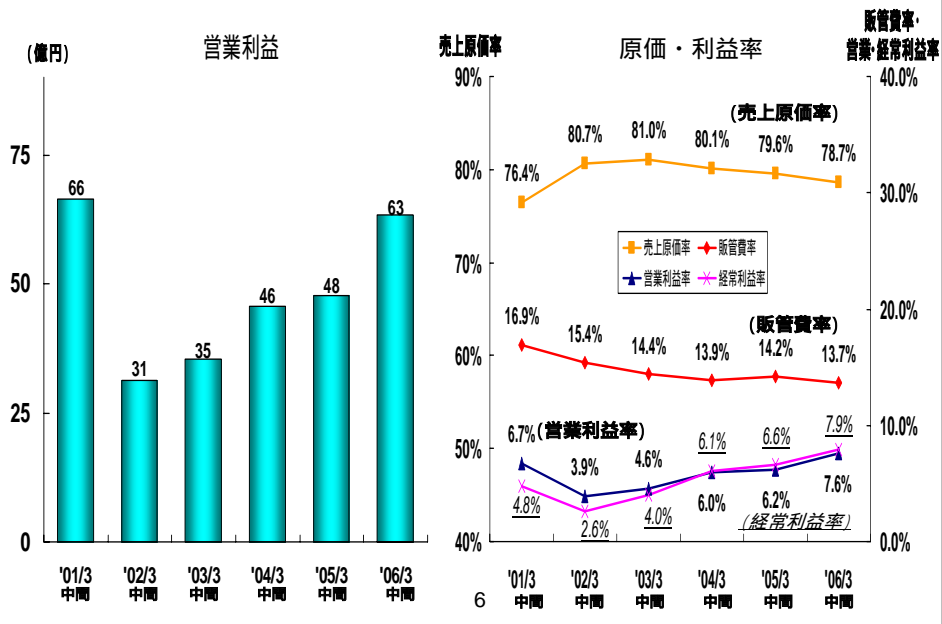
4

経常利益増減要因



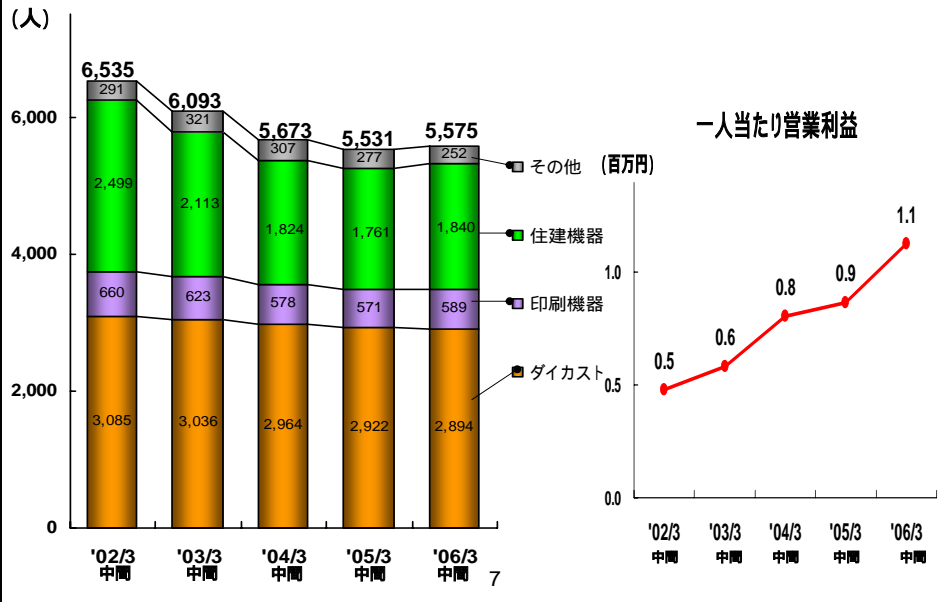
5

営業利益及び各種比率の推移

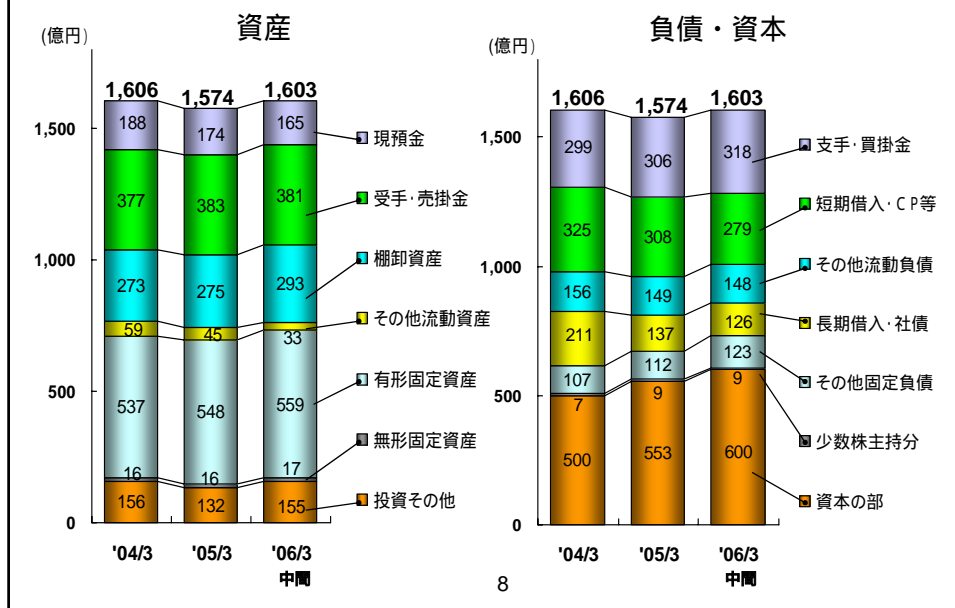


6

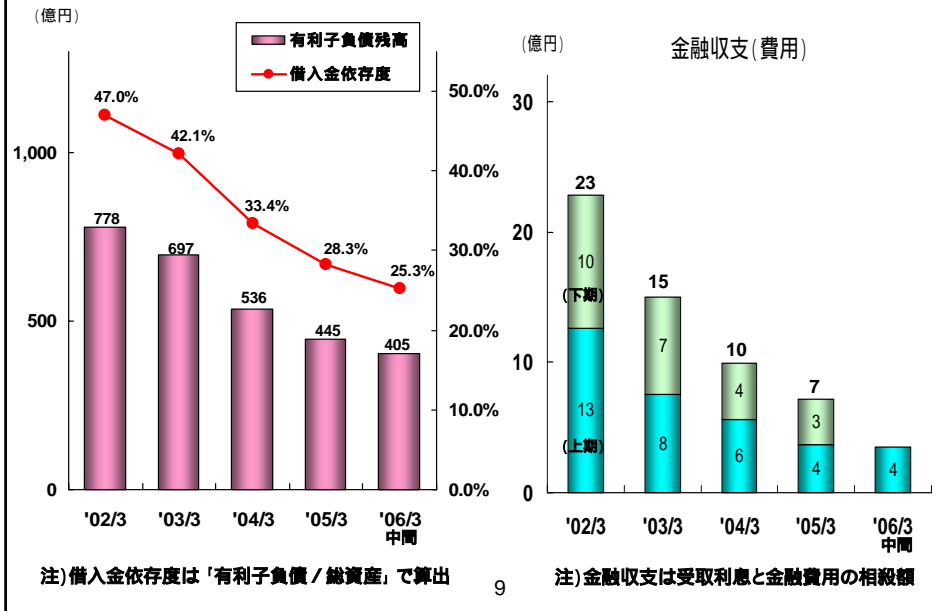
人員の推移 (リョービグループ)



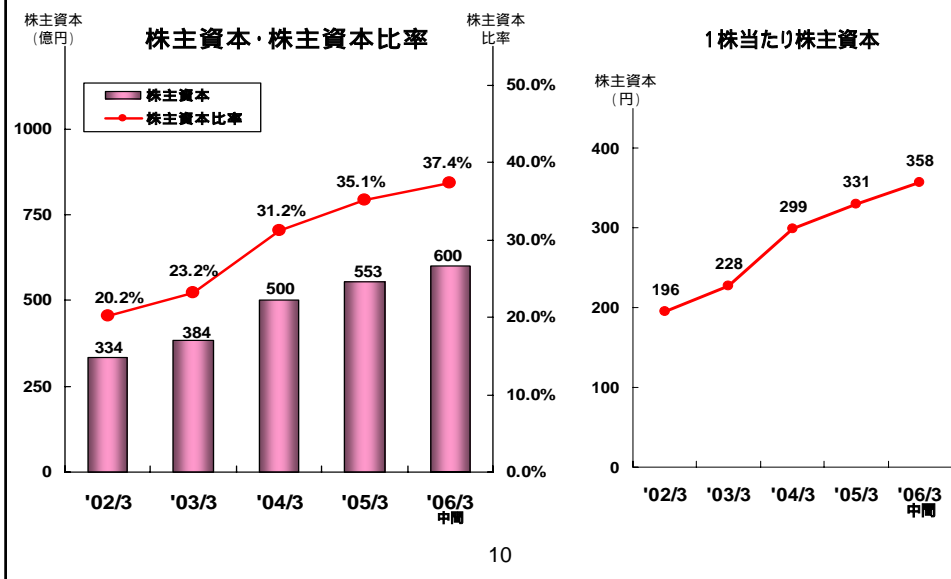
資産・負債・資本 [科目別]



有利子負債・金融収支の推移



株主資本と株主資本比率の推移



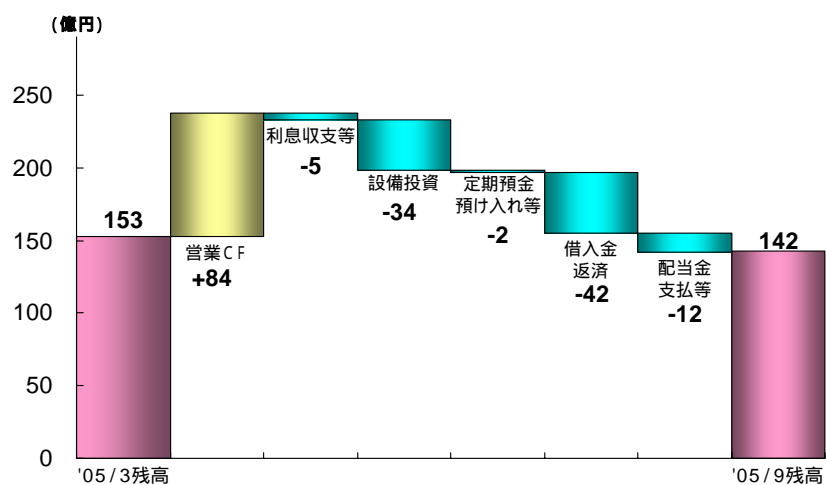
キャッシュフロー

(億円)

	'05/3期中間 (実績)	'06/3期中間 (実績)	-
営業活動によるキャッシュフロー	70	80	9
投資活動によるキャッシュフロー	26	36	10
財務活動によるキャッシュフロー	75	54	21
現金及び現金同等物増減	30	11	20
	'05/3期末 (実績)	'06/3期中間 (実績)	-
現金及び現金同等物期末残高	153	142	11

11

キャッシュフロー要因



12

単独決算の概況(中間期)

(億円)

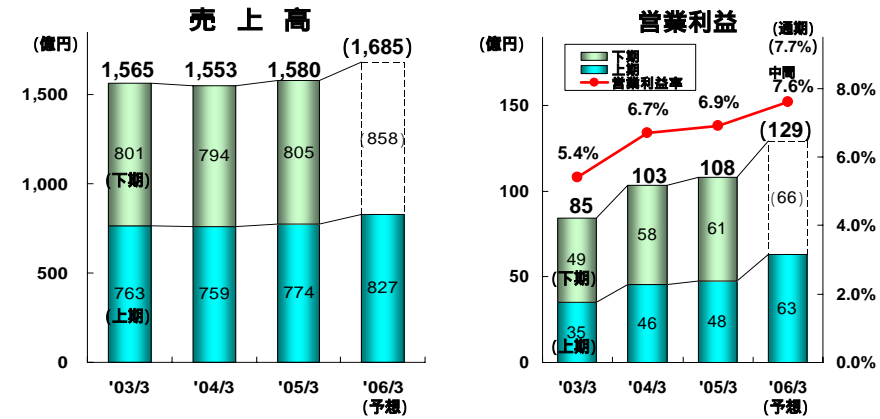
	'05/3期中間 (実績)	'06/3期中間 (実績)	-
売上高	530	595	64
営業利益 (売上高比)	25 (4.7%)	44 (7.4%)	19
経常利益 (売上高比)	30 (5.7%)	49 (8.3%)	19
当期純利益 (売上高比)	17 (3.1%)	29 (4.9%)	13
	'05/3期末 (実績)	'06/3期中間 (実績)	-
総資産	1,218	1,228	10
利益剰余金	53	69	17
有利子負債	347	314	34
			過去最高益

13

事業別概況

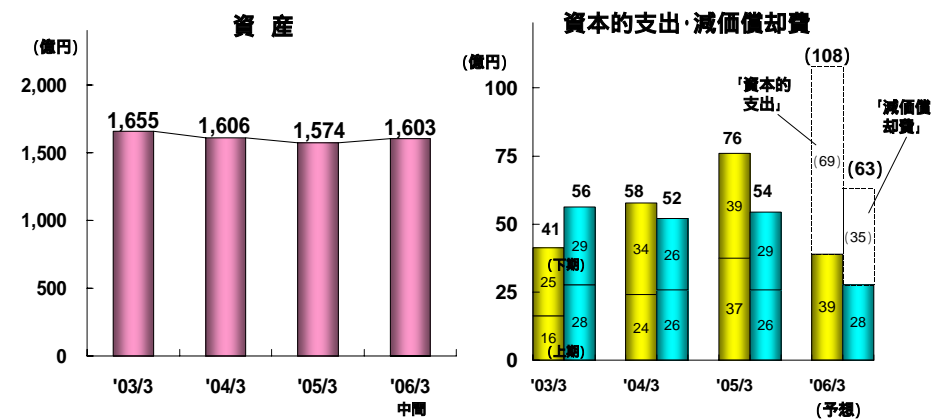
14

連結の業績



15

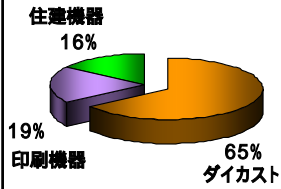
連結の資産・資本的支出



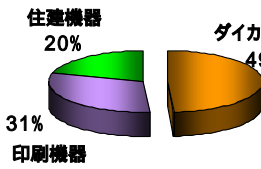
16

事業比較 ('06/3期中間)

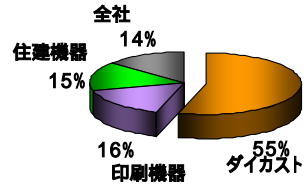
売上高



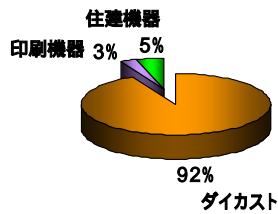
営業利益



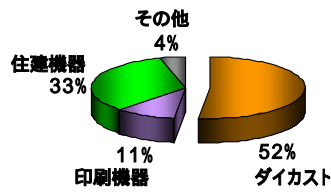
資産



設備投資



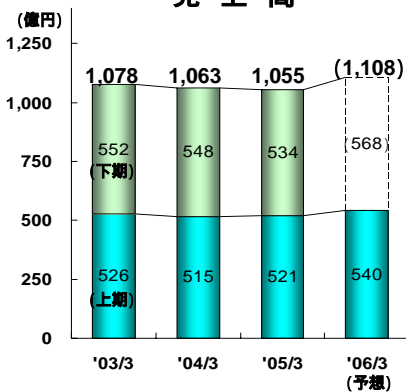
人員



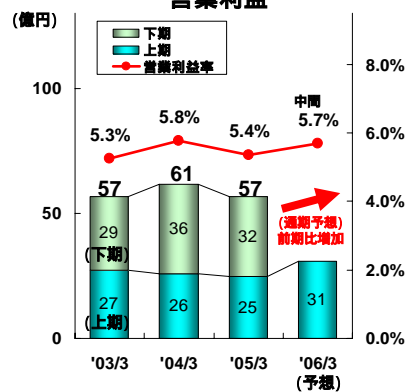
17

ダイカスト事業の業績

売上高



営業利益



<'06/3中間の増減理由(対'05/3中間比)>

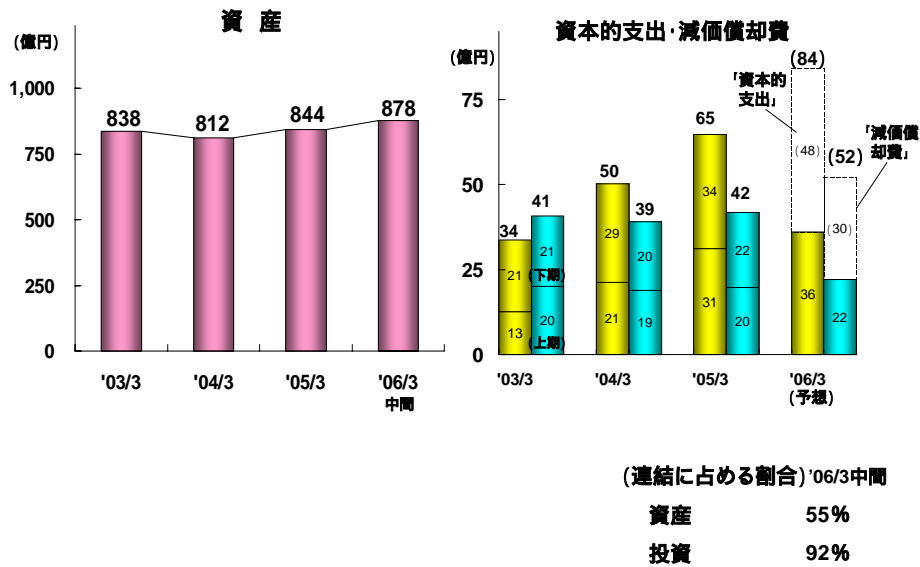
- ・国内自動車メーカー向け販売が堅調に推移し、売上高が増加。
- ・原材料価格の値上がりやプライスダウンの要請が強まる中、国内売上の増加やコストダウンの効果により利益は増加。

(連結に占める割合) '06/3中間

売上高	65%
営業利益	49%

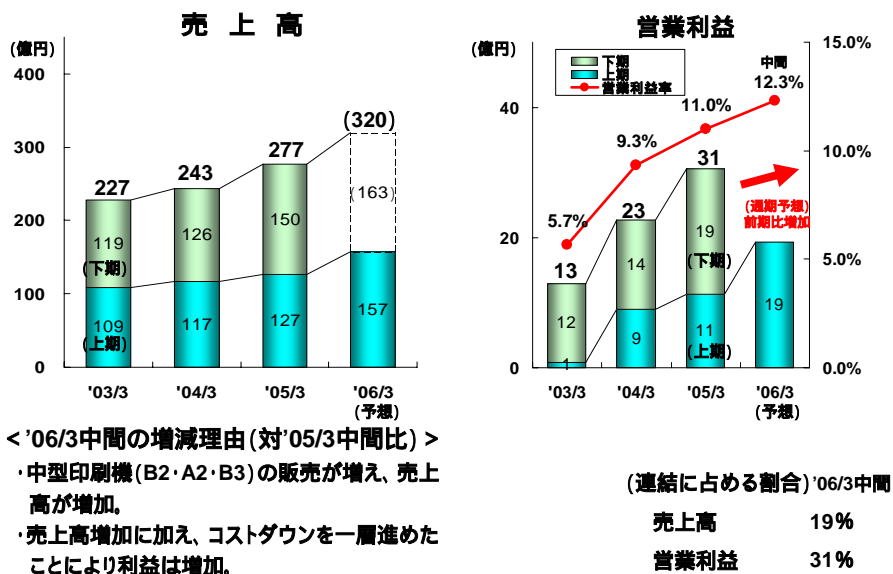
18

ダイカスト事業の資産・資本的支出



19

印刷機器事業の業績

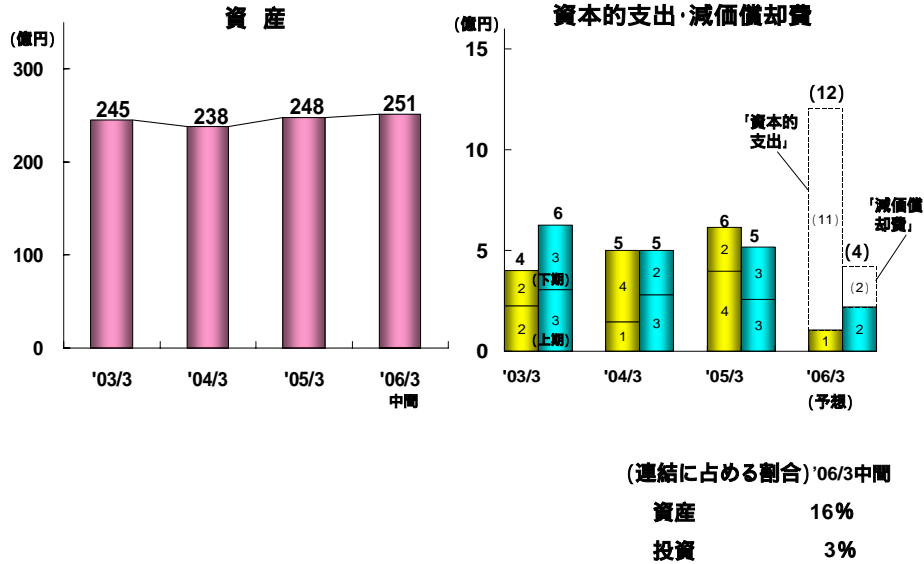


<'06/3中間の増減理由(対'05/3中間比)>

- ・中型印刷機(B2・A2・B3)の販売が増え、売上高が増加。
- ・売上高増加に加え、コストダウンを一層進めたことにより利益は増加。

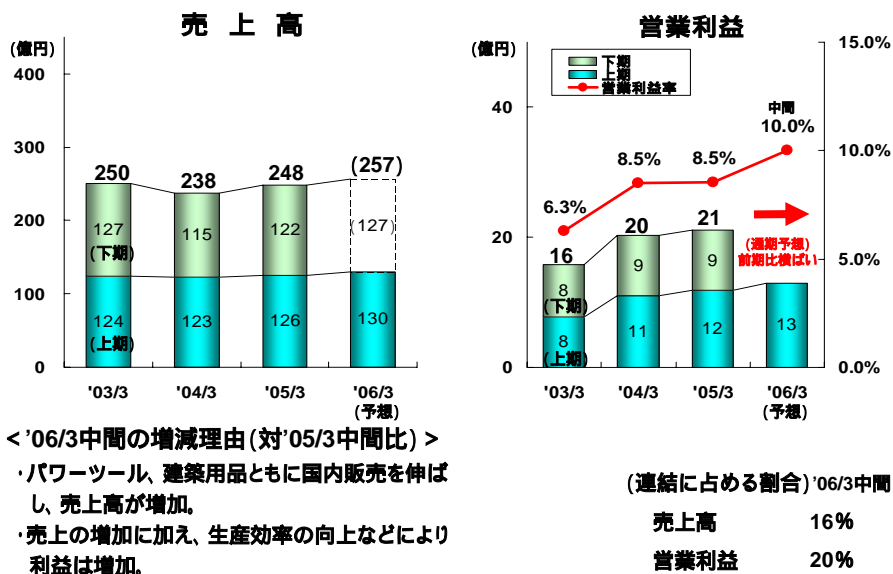
20

印刷機器事業の資産・資本的支出



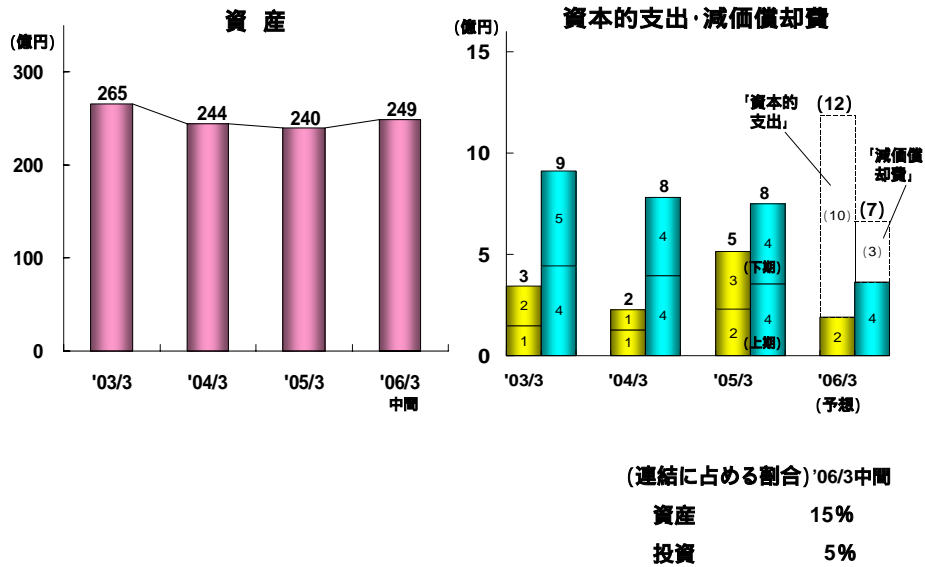
21

住建機器事業の業績



22

住建機器事業の資産・資本的支出



23

'06/3通期予想と主な取組み

24

連結業績予想

(億円)

	'04/3 期 (実績)	'05/3 期 (実績)	'06/3 期 (予想)	-
売上高	1,553	1,580	1,685	+ 105
営業利益 (売上高比)	103 (6.7%)	108 (6.9%)	129 (7.7%)	+ 21
経常利益 (売上高比)	100 (6.4%)	113 (7.2%)	130 (7.7%)	+ 17
当期純利益 (売上高比)	128 (8.3%)	66 (4.2%)	77 (4.6%)	+ 11
'06/3下期予想 為替レート US\$ = 105円、1-円 = 125円 過去最高益				

25

連結売上高・営業利益予想 [事業別]

(億円)

	売上高				営業利益		
	'04/3 期 (実績)	'05/3 期 (実績)	'06/3 期 (予想)	-	'04/3 期 (実績)	'05/3 期 (実績)	'06/3 期 (前期比予想)
ダイカスト	1,063	1,055	1,108	+53	61 5.8%	57 5.4%	増加
印刷機器	243	277	320	+43	23 9.3%	31 11.0%	増加
住建機器	238	248	257	+ 9	20 8.5%	21 8.5%	横ばい
その他	8	-	-	-	1	-	-
注) 下段は営業利益率							

26

連結売上高予想 [地域別]

(億円)

	'04/3 期 (実績)	'05/3 期 (実績)	'06/3 期 (予想)	-
売上高合計	1,553	1,580	1,685	+105
日 本	1,118	1,147	1,222	+75
海 外	435	433	463	+30

27

売上高・利益予想の増減要因

[売上高]

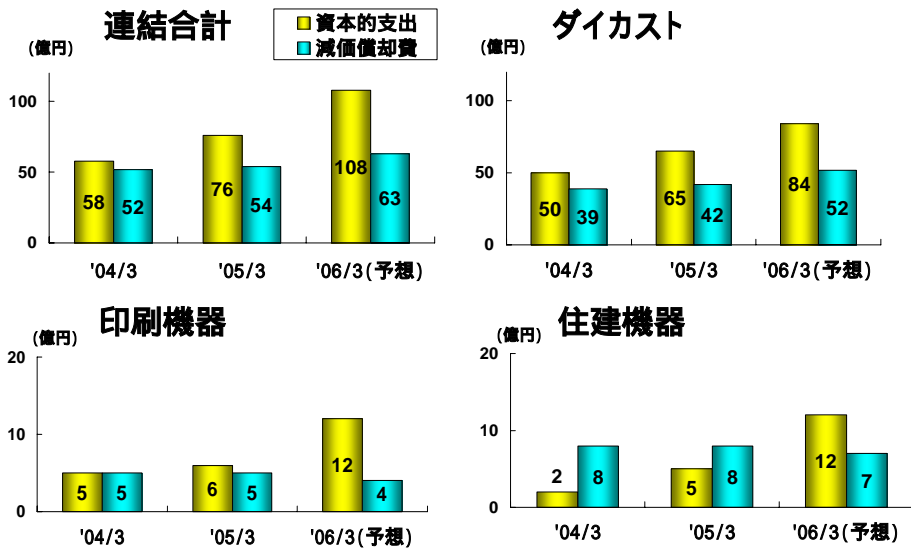
- ・ダイカスト事業は、国内自動車メーカー向けが堅調で増収の見通し。
- ・印刷機器事業は、海外で中型印刷機などの販売が好調で増収の見通し。
- ・住建機器事業は、パワーツール、建築用品ともに国内販売が伸び、増収の見通し。

[利益]

- ・売上高の増加などにより、営業利益、経常利益、当期純利益は全て増益となる見通し。
- ・営業利益、経常利益は4期連続の増益で、ともに過去最高額を更新する見通し。

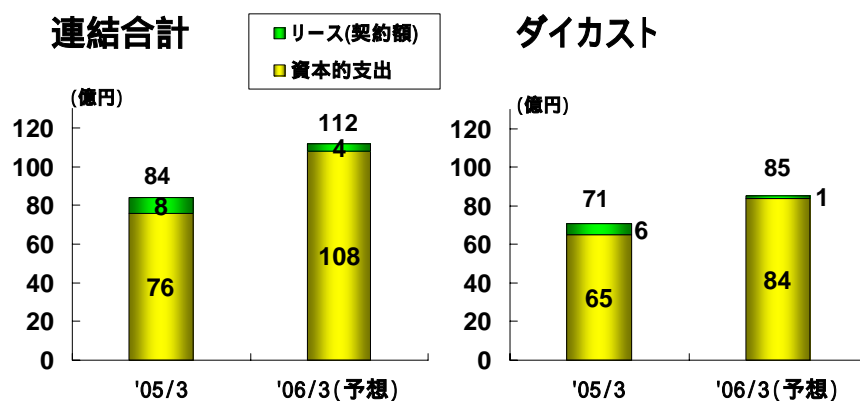
28

資本的支出と減価償却費の予想



29

設備投資(資本的支出・リース)予想



<投資増の理由>

- ・大規模受注、加工付納等に対応するため、加工設備、ダイカストマシン等の戦略的な投資を増強。
- ・投資に対する収益は、'06/3期以降漸増する見込み。

30

単独業績予想

(億円)

	'04/3 期 (実績)	'05/3 期 (実績)	'06/3 期 (予想)	-
売上高	1,064	1,124	1,240	+116
営業利益 (売上高比)	59 (5.5%)	69 (6.2%)	99 (8.0%)	+30
経常利益 (売上高比)	64 (6.0%)	79 (7.0%)	108 (8.7%)	+29
当期純利益 (売上高比)	91 (8.6%)	45 (4.0%)	64 (5.2%)	+19
				過去最高益

31

主な取組み

ダイカスト事業

受注・売上高の拡大

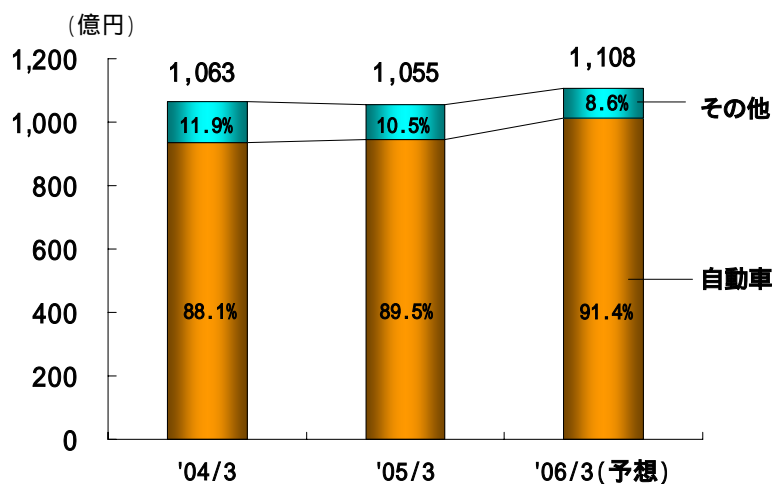
- ・ 高品質・高付加価値製品の開発、技術開発力の強化
- ・ 顧客対応力の強化
 - グローバルな生産体制による機動力の発揮
(日米欧に加えて中国にも生産拠点を設立)
- 提案型営業の強化(ゲストエンジニア等)
- ・ 戦略的投資の推進

低コスト体質の強化

- ・ 抜本的コストダウン(品質・生産技術の向上等)
- ・ 販売・製造(国内外グループ)一体となった生産性の向上
- ・ 生産技術・技能の伝承(人材の確保、育成)

32

ダイカスト事業の得意先業種別売上高 < 連結 >



33

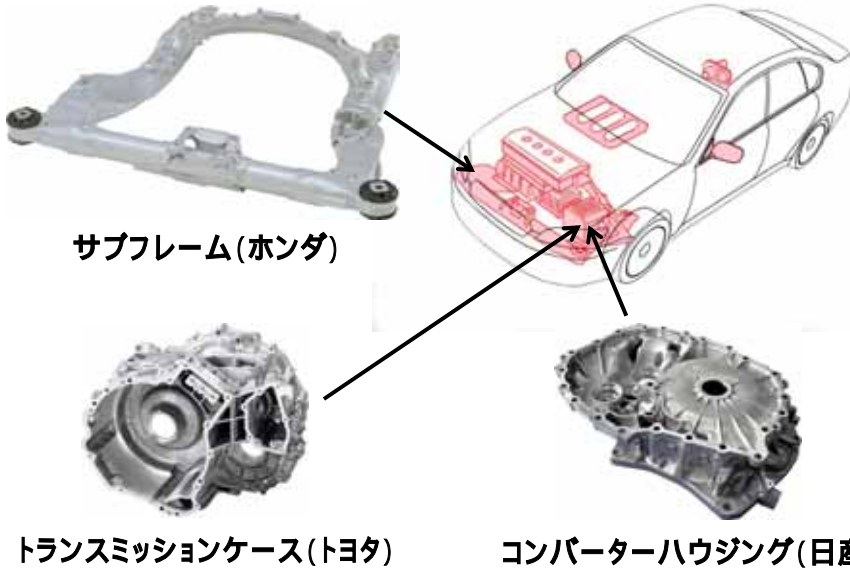
ダイカスト事業

自動車関連分野

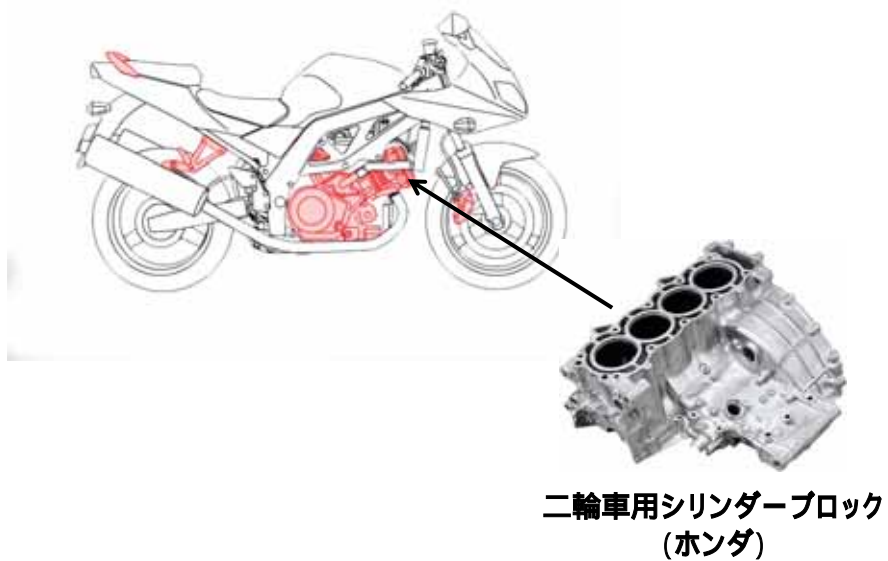
- 車体軽量化に対応する技術力強化 -
- ・ エンジン、ミッション部品の新規開発と製造技術の開発
- ・ 車体フレーム、足廻り部品のアルミダイカスト化の促進
(高靱性合金開発、高真空・超高速技術等)
- ・ 受注の大ロット化、加工付ニーズへの対応力強化

34

ダイカスト製品 <自動車関連部品>



ダイカスト製品 <自動車関連部品>



ダイカスト事業

中国・大連に子会社を設立

世界の自動車メーカーの中国への進出にともない、
現地でダイカストの需要が急速に増加。

世界中のお客様にグローバルに対応する体制を一層強化。

- ・会社名 利優比压铸(大連)有限公司
- ・設立年月 '05年4月
- ・総投資額 39億6千万円(US\$36,000千、297,936千元)
- ・事業内容 ダイカスト用金型およびダイカスト製品の製造販売
- ・生産開始
ダイカスト用金型 '06年11月(予定)
ダイカスト製品 '07年11月(予定)

37



38

主な取組み

印刷機器事業

新商品開発、新市場開拓の強化

- ・顧客ニーズに合った商品の開発、拡販(中型機の充実)
- ・他社との提携推進(共同開発、技術協力等)
- ・技術サポート、サービス体制の強化(中型機、デジタル機)

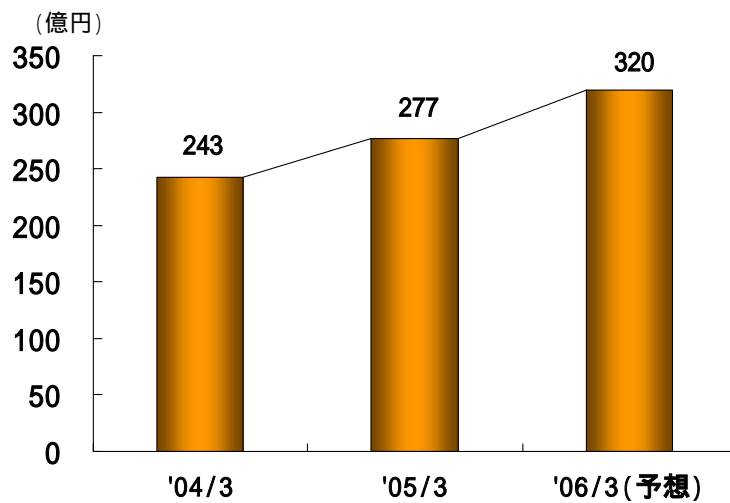
抜本的コストダウンの推進

- ・生産性、営業効率の向上
(トータルリードタイム短縮、業務改善等)
- ・部品、コンポーネントの原価低減(海外調達促進等)

グループ経営の強化

39

印刷機器事業の売上高<連結>



40

印刷機の新工場棟を建設 (広島東工場敷地内)

(1) 建設の理由

- ・販売を伸ばしている中型印刷機の生産能力を増強する。
- ・06年に発売するアジア市場向けA1サイズ印刷機を生産する。
- ・現在2箇所に分散している中型印刷機の塗装やシリンダー加工のラインを一箇所に集約し、加工から組立、検収、出荷までの一貫体制を構築して、生産性向上をはかる。

(2) 新工場棟の概要

- ・工事期間 : 05年10月着工 ~ 06年4月完成予定
- ・生産開始 : 06年5月(予定)
- ・延べ床面積 : 約10,100㎡
(1階 5,400㎡、2階 4,700㎡)
- ・建物概要 : 鉄骨作り
1階 塗装、組立、検収、出荷
2階 部品倉庫、部品組立
- ・投資額 : 約20億円(建物、機械設備等)
- ・中型印刷機生産能力: 現状の60%増



完成予想図

主な商品 < 中型印刷機 >



780Eシリーズ
(B2サイズ)

920シリーズ
(A1サイズ)



< デジタル印刷機 >



3404X - DI デジタル印刷機

43

< 小型印刷機 >



520GXシリーズ

44

主な取組み

住建機器事業(パワーツール)

マーケティング力の強化

- ・軽量、コンパクトをコンセプトに機能性と使いやすさの追求

製造力の強化による価格競争力の向上

- ・抜本的コストダウンの推進(グループ一体で高効率化)
- ・利優比(大連)機器のコスト競争力を強化



インパクトドライバ BID-123



ジグソー J-6500VDL



ブロワバキューム RESV-1010

45

住建機器事業(建築用品)

ドアクローザの拡販

高付加価値商品の開発

製造力の強化による価格競争力の向上

- ・抜本的コストダウンの推進(グループ一体で高効率化)
- ・利優比(大連)機器、良友精工のコスト競争力を強化



ドアクローザ ドアマンシリーズ
(開閉力調整機能付き)



JISグレード1対応ドアクローザ
B-1000G1 / 3000G1

46

企業理念

技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。

47

「らしごこち」がテーマです。

RYOBI

Copyright (c) 2005 Ryobi Limited. All Rights Reserved. 無断複製・転載等を禁止します。